

令和5年6月4日
打越町内会 会長 椎原克己
福祉部長 島内 浩

打越ふれあい活動について

打越ふれあい活動は、住民の皆様のきずなを深め、安全と安心を高める活動として、2021年度から始めました。二か月に一度行っている「ふれあいミーティング」で参加者から発信された情報の一部をご紹介します。

【世代間の交流】

両親不在時にお子さんを一時預かりするなどの近所付き合いをしているご高齢の方の紹介がありました。このような信頼関係が広がれば子育て世代の不安解消やご高齢の方とのつながりが生まれます。

この例が気運となって、コロナ禍で中断していたもちつき大会で子ども会を運営する子育て世代といぶきの会や打守会の皆さんとの交流につながりました。

【日々の生活の中で】

町内のクリーンデーやいぶきの会主催のラジオ体操、オープンカフェなどが、交流の機会となり楽しみの一つになっているというお話もありました。

また、新聞や郵便物が個人宅のポストに溜まったままになっていることが疑問になって、関係機関に連絡して安否確認を行ったというお話もありました。

【一方で】

ご近所の方から『窓が開いたままになっている』という連絡を受け、関係機関が確認したところ、お亡くなりになっていたということがありました。

この方は一人暮らしで、日頃から関係者や有志が生活のサポートや交流を行っていました。『もう少し早く気づけば、より多くの目があれば、違う結果になっていたかもしれない』というのが関係者の気持ちでした。

【熱中症に対して】

5月は、天候の変化が激しかったように感じます。昨年も6月に熱中症により体調不良となった方が多くいました。『手足が冷える、汗が出にくい、電気代が高い』などの理由でエアコン等を使用せずに熱中症になる事例もありました。

“油断せず、我慢せず、水分補給を忘れずに”

町内の皆さまの日常の生活が、ふれあいの場でもあると思います。打越ふれあい活動は、これからも継続して、皆さまの暮らしがより楽しくなることを目指したいと思います。